

令和2年度 第1回 さいたま市立小・中学校通学区域審議会議事録

日 時 令和3年1月8日（金）
午後2時から2時30分
場 所 市役所第2別館2階 教育委員会室
出席者 宮田会長、今川副会長、近委員、須郷委員、
石川委員、向山委員、桑原委員、溝口委員、
松本委員、深津委員、茂木委員、
学校教育部長、学事課長、事務局
欠席者 石黒委員、池田委員、松谷委員、飯野委員

1 開会

2 学校教育部長挨拶

3 会長挨拶

(議事進行交代)

(委員出席状況報告)

(資料確認)

4 議 題

事務局より、特定地域設定要望について資料に沿って説明。

・設定要望があった自治会の要望内容（指定校・許可校）

①根岸自治会・南自治協力会（高砂小・南浦和小）

②鹿手袋一丁目自治会（浦和別所小・与野南小）

③下郷自治会・指扇向自治会（指扇小・栄小）

・対象地域内在住児童生徒数

・対象となる小学校の児童数の推計

総合的に判断すると、①～③の要望は妥当であると説明。

【質疑応答】

委 員：今回の対象地域について、交通安全や防犯の観点から、通学に支障がある箇所はないのか。

事務局：下郷自治会・指扇向自治会の設定要望については、許可校へ通学する場合、交通量の多い県道2号線（旧国道16号線）を横断するため注意が必要であるが、自治会が旗ふり誘導等の見守り活動を行っていく予定である。他の2つの要望については、特に問題点はなく、通学距離及び時間が大幅に短縮されることから、より一層通学の安

全確保に資するものであると考えている。

委員：鹿手袋一丁目自治会の要望内容に関して、浦和別所小の児童数は今後急速に増えていくようだが、校舎の増設等は検討されているのか。

事務局：武蔵浦和駅周辺の大規模な開発の影響で大幅な児童数の増加が見込まれるため、浦和別所小では、来年度より10教室分の仮設校舎を供用開始する予定である。少しでも児童数の偏在を解消し良好な教育環境を確保するためにも、与野南小を選択できるようにする今回の要望内容は妥当であると考えている。

委員：与野南小を選択した場合、与野南中には進学できるのか。

事務局：通学区域外の小中学校への就学を許可する基準である「就学指定校変更許可基準」の中で、指定校変更許可を受けた小学校に卒業まで通われた場合、当該小学校の進学先中学校への通学をお認めしている。そのため、今回の要望通り特定地域が設定され、与野南小を選択された場合は、指定校の白幡中に加え、与野南小の進学先中学校である与野南中への進学も可能となる。

(その他質問・意見等なし。以上で質疑応答を終了。)

委員：以上の審議を踏まえ、今回の特定地域の設定については、妥当であると結論付ける。

6 その他

事務局より、次回の審議会は6月に開催予定であることを連絡。

(質疑応答なし)

7 閉会